

第4次野辺地町行財政改革大綱 実施計画

改革事項	(1) 事務事業の見直し		ウ 許認可等の事務手続きの簡素化と行政手続きの明確化	
改革項目	個人番号カード利用による住民サービスの向上		担当部署	総務課
年度計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
年度目標	システム等の確実な構築	情報連携を確実に実施する	個人番号カード利用による独自サービスの検討	個人番号カード利用による独自サービスの検討
実施概要	システムに係る情報提供NWSとの総合テスト、業務システムの追加改修、特定個人情報保護委員会への独自利用事務の届出、添付書類に係る例規整備等	H29年7月から国や地方公共団体間で始まる情報連携を確実に実施する。	個人番号カードを利用することにより、印鑑登録証、コンビニ交付等の独自サービスを検討する。	個人番号カードを利用することにより、印鑑登録証、コンビニ交付等の独自サービスを検討する。
年度計画	平成31年度(令和元年度)			
年度目標	個人番号カード利用による独自サービスの検討			
実施状況及び今後の進行計画	国では、令和3年に保険証として利用できるなど施策があるが、各市町村は、独自に国の施策に加入したり、システムを改修したりしないと利用できない状況である。コンビニ交付サービス以外の独自利用については、今後も検討していかなければいけない。			
問題点等				